

比を学習し終えた小学校6年生と お母さんのためのおさらいシート

利用する皆様へ

小学校6年生の算数で比を習い終えた後、これを使って、お母さんがお子さんと比を始めとして、割合、歩合、百分率の復習を、親子二人でやってみる事を目的に作りました。お子さんに声を出して読んでもらうのが基本で、進めるようにしましたが、文章が多いので疲れた時は、お母さんが読んであげて、また、お子さんが読むという形で、1日に45分で5日くらいでできるかなと思います。親子のコミュニケーションの機会と思って活用してくださいましたら嬉しいと思い、記事をアップします。

これは、私が、そんなに算数が得意とか好きではない、我が子と学習した内容です。

これで、テストの点数が取れるかどうかというよりも、算数の根っこを紹介して、子供達に「数ってすごく面白い！算数って、面白い部分があるんだな。」

という気持ちが育つと嬉しいと思いました。

さらに、今の教育課程では教えきれない数の特性を考えながら学ぶことによって、小学校の算数では、数学へと駒を進めた時に役立つ考え方を身につけてもらいたいと、常々、思っています。

これに関しては、比は基本的に単位がない無次元の数字なんです。パーセントや、割などは、これらが百分率や歩合ですよという記号のようなものです。でも、比は、体積や重さが出てきて、数値が多様です。このあたりをお子さんと考えると、結構面白く学習が進められるかなと思います。

途中のかっこで囲まれた部分の解答は、付録 解答の最後に載せました。これを埋めながら、比を学び、割合、歩合、百分率のおさらいをしてください。

教育関係者の方々へ

本書では、比率という言葉の下に、割合、歩合、百分率と比がそれぞれ定義されているという設定をしました。一般的に、割合が、これら全てを総称してしまう傾向があります。私はそれが悪いとは思いませんが、子供の頭は、一つの言葉に色々な意味付けがされると、混乱が起きることがあり、それに伴って算数や数学が嫌いになるという人がかなりいると感じています。

また、実は、習得順序についても、割合、歩合、百分率の前に、比の原理、配分の部分の習得をした方が、児童にとっては、とっつきやすいのではないかと常日頃感じています。

ただ、割合、歩合、百分率は、日常生活の知識ですから、比と違い取りこぼしが許されないという圧力は感じています。

ですが、割合が本質的な比率の量であるのは間違いありませんが、比というのは、それに対して原始的で基本的な比率量だと感じています。まず、比率のとっかかりは、比で初めてみたらどうなるかな？という事を頭に置いて、これを書きました。

決して、テストで点数を取るためのものではありません。

量と量を比べよう！比例と割合

小学校6年生では、比というものを習います。その前に5年生で割合（歩合、百分率を含むよ）を習ったのは覚えているかな？割合と比は、本来は同じものを違った形で表しているものなんだよ。

ある量 (a) と別のある量 (b) があるとします。多くの人考えることの一つに、

「どちらがどれくらい多いかな、少ないかな？二つの量を比べよう！」

があるよね。それを考えるには、次の4つのうちどれが適切かな

あ) $a+b$ の和を考える。

い) $a-b$ の差を考える。

う) $a \times b$ の積を考える。

え) $a \div b$ の商を考える。

答えは、わかったかな？

二つの量がどれくらい多いかなを考えるためには、い) とえ) だよ。

い) は差を求めて、どちらがどれだけ多いかがわかるよ。

え) は商を求めて、どちらが何倍多いのかがわかるよ。

例えば、 $100\text{cm}(=a)$ のリボンと $50\text{cm}(=b)$ のリボンがある場合、

い) の場合は、 $a-b=100-50=50$ となり、 a のリボンの方が b のリボンより 50cm 長いことがわかります。

え) の場合は、 $a \div b=100 \div 50=2$ となり、 a のリボンの方が b のリボンより長く、2倍の長さであることがわかります。

二つの量を比べるために、差は小学校1、2年生で習ったよね。これが、い) で比べる量だね。そして、3年生では割り算を習って、何倍になるのかを求めたよね。

そして、5、6年生では、量と量を比べるために、比率というものを学習します。比率とは、比べる量に対して、比べられる量が何倍になるのかを表すための量です。3年生で習った割り算方式え) は、もっとも基本的な比率を表す値です。

この比率の中には、比、割合、歩合、百分率があります。比率にはこんなたくさんの種類があるということは、それだけ、様々な状況のもとで、量を比べるのに便利なものだけということだよ。では、ここでは比を中心にして習い、割合、歩合、百分率をおさらいをしようね。

[1]比とはどんなもの

「AさんとBさんが狩に行き、8羽のキジを仕留めました。Aさんは家族が5人、Bさんは家族が2人でしたので、Aさんは5羽もらい、Bさんは3羽もらうことになりました。」

こんな時、「AさんとBさんと、5羽(たい)3羽で分けましょう。」と言えば、日本語さえ分かれば、誰でも理解できますよね。これは、全体の個数と分ける個数がきっちり決まった**実際の量を表す比**で、比率ではないよ。でも、普段の生活では、これも比と呼んでしまうから、気をつけてね。

では、全体の数がはっきりしない、今年収穫するであろうお米を分けるとした場合、収穫したお米をAさんとBさんで5:3で分ける場合、ここで出てきた5:3が、比率を表す比です。そして、これが算数の世界の**比率を表す比**と呼ばれるものなのです。

「比率を表す比はどのようなもの？」というのは、算数で決められているよ。

2つの量（数） a と b について、 a の b に対する比率を $a:b$ と書き、これを比と呼びます。この時、初めに出てくる a を前項、後に出てくる b を後項と呼びます。

くり返すけれど、最初に出した、5羽:3羽の例では、前項と後項に単位が出てくるから、**実際の量を表す比**だったよね。でも、比の表し方は、とてもわかりやすく便利だから普段の生活では、**比率を表す比**と**実際の量を表す比**は、入り混じって使われているから注意しよう。でも、この教科書で比と書いたら、基本的には、**比率を表す比**を表すことにするよ。

では、比についてさらに学習を進めよう。

前項 a は（**比べる量**、**元にする量**）[Ⓐ]、後項 b は（**比べる量**、**元にする量**）[Ⓑ]になるんだよ。

前項を後項で割った商を**比の値**と呼びます。 $a:b$ ならば比の値は $a \div b = \frac{a}{b}$

つまり、比の値は、後項に対する前項の（**百分率**、**歩合**、**割合**）[Ⓒ]のことを言うのです。

ここで、比は、今まで学習した割合、百分率、歩合の仲間だということがわかったかな？次に具体的な問題で説明しよう。

例題 1

赤いおはじきが60個、青いおはじきが90個ある場合を考えてみよう。

赤いおはじきの数の青いおはじきの数に対する割合を比で表してください。

（解答） 赤いおはじきの数：青いおはじきの数

という比で表せば良いのです。なので、

60:90

が答えです。

簡単に、

赤いおはじきと青いおはじきの比は？

60:90と表現することもあるから、気をつけようね。

練習問題 1 例題 1 の場合で、青いおはじきの数の赤いおはじきの数に対する割合を比で表してください。

練習問題 2 例題 1 の場合で、

(1) 赤いおはじきの全てのおはじきに対する割合を求めてください。

(2) この赤いおはじきの割合に対する全体のおはじきの割合を比で表してください。

練習問題3 例題1の場合で、

- (1) 赤いおはじきの全てのおはじきに対する歩合を求めてください。
- (2) この赤いおはじきの歩合に対する全体のおはじきの歩合を比で表してください。

練習問題4 例題1の場合で、

- (1) 赤いおはじきの全てのおはじきに対する百分率を求めてください。
- (2) この赤いおはじきの百分率に対する全体のおはじきの百分率を比で表してください。



問題4で、百分率をおさらいしたけれど、比を使って表してみると、全体の量(元にする量)を100にしたから百分率なんだと言えますよね。

それに当てはめると歩合は(百分率, 十分率, 一分率)^㉑、割合は(百分率, 十分率, 一分率)^㉒とも言えますね。

[2]同じ比

例題2 次の比の比の値を求めてください。(解答に参考を書きました。)

- ① 1 : 3
- ② 2 : 6
- ③ 3 : 9
- ④ 15 : 45
- ⑤ 52 : 156

①～⑤の答えについて考えたことを書いてください。

大切なことがわかったかな？

一見、違うように見える比でも、**比の値を計算した時に同じ値になるものは、同じ比と呼んでいます。**ここから、大切な比の性質が見えてくるよ。

比の性質

前項と後項に0でない同じ数をかけても、また、0でない同じ数で割っても比は等しくなります。

この比の性質を利用して、できるだけ小さな整数の比になおすことを、比を簡単にすると言います。

例題2の①～⑤の中で一番簡単な比は、()[Ⓔ]です。

練習問題5 次の比の比の値を求めて下さい。

- ① 9 : 3 ② 7 : 42 ③ 3 : 3 ④ 30 : 35 ⑤ 6 : 14
- ⑥ 8 : 14 ⑦ 15 : 5 ⑧ 4 : 56 ⑨ 35 : 45 ⑩ 90 : 15
- ⑪ 26 : 39 ⑫ 15 : 60 ⑬ 30 : 60 ⑭ 45 : 60 ⑮ 13 : 91
- ⑯ 25 : 100 ⑰ 50 : 100 ⑱ 75 : 100 ⑲ 51 : 17 ⑳ 225 : 125
- ㉑ 112 : 192 ㉒ 96 : 16

練習問題6 次の比を簡単にしてください。

- ① 9 : 3 ② 7 : 42 ③ 3 : 3 ④ 30 : 35 ⑤ 6 : 14
- ⑥ 8 : 14 ⑦ 15 : 5 ⑧ 4 : 56 ⑨ 35 : 45 ⑩ 90 : 15
- ⑪ 26 : 39 ⑫ 15 : 60 ⑬ 30 : 60 ⑭ 45 : 60 ⑮ 13 : 91
- ⑯ 25 : 100 ⑰ 50 : 100 ⑱ 75 : 100 ⑲ 51 : 17 ⑳ 225 : 125
- ㉑ 112 : 192 ㉒ 96 : 16

[3] 比例式

等しい比は、表し方がたくさんあることは理解できたかなこれは、分数が同じ値だけれど、沢山の表し方があるのと同じです。例えば、 $\frac{2}{3} = \frac{4}{6} = \frac{6}{9}$ みたいに。だから、一見すると違う比だけれど、同じ比率を表す比を等号で結んで式を作ります。この式を比例式と言います。

例を挙げると、 $3 : 2 = 6 : 4$ や $1 : 2 = 3 : 6$ などです。

ただし、実際の数を比で表した3個 : 2個は、6個 : 4個は違うものになるよ！注意してね。

例題3 $9 : 2 = x : 8$ のxを求めてください。

同じ比の値になれば、二つの比が等しいと言えるので、になれば良いのです。

$$\begin{aligned}
 9 \div 2 &= x \div 8 \\
 \frac{9}{2} &= \frac{x}{8} \\
 x &= 36
 \end{aligned}$$

となります。

実は、これを簡単に解くための方法があるんだよ。 $a : b = c : d$ という比例式がある

内項の積 $b \times c$

$a : b = c : d$

外項の積 $a \times d$

内項の積 = 外項の積
になるよ。
つまり、
 $axd = bxc$

時に、図に示したような、内項の積と外項の積が等しくなるという性質を利用した方法です。

$$9 : 2 = x : 8$$

であれば、

$$9 \times 8 = 2 \times x$$

$$x = 36$$

と求められます。

これは、方法としては簡単だけれど、その根幹に比の値が等しいという事があることは忘れないでね。

練習問題 7 次の比例式の x を求めてください。

① $4 : 12 = x : 6$

② $x : 4 = 12 : 16$

③ $6 : 1 = x : 12$

④ $6 : x = 42 : 7$

⑤ $84 : 12 = 7 : x$

⑥ $x : 105 = 10 : 35$

⑦ $3 : 7 = 42 : x$

⑧ $77 : x = 7 : 4$

⑨ $11 : 12 = 121 : x$

⑩ $48 : x = 3 : 2$

[4] 比の利用 (1)

この章では、単純に数と数、量と量を比べて、実際に生活する上で比を利用する方法を紹介するね。この場合、比の表し方が比率を表さない場合もあるよ。比の表し方を利用していても、比率でない場合は、必ずしも比を最も簡単に表記しない場合もあります。

例題 4 三辺が $6\text{cm} : 8\text{cm} : 10\text{cm}$ になる

三角形を書いてみてください。

三角形の三辺の

長さが $3:4:5$ になる場合は直角三角形になるという決まりがあります。

他にも三角形の三辺が

$5:12:13$ の場合には直角三角形になるよ。

例題 5 長方形の縦と横の長さの比が4 : 3 で、縦が12cmのとき、横の長さは何cmになりますか。

$$4 : 3 = 12 : x$$

比の値を取ると、

$$\frac{4}{3} = \frac{12}{x}$$

$$x = 9$$

答え 9 cm

例題 6 割りしたしょうゆを作ります。美味しく作るには、体積の比率は、しょうゆ : 料理酒 : みりん : 砂糖 = 2 : 1 : 1 : 0.5とされています。

しょうゆが1リットルがあるので、それを全て使って割りしたしょうゆを作ろうと思います。料理酒とみりんを砂糖をどれだけ用意すれば良いでしょうか。(巻末解答参考)

二つの解答を紹介するね。

(解答 1)

醤油を元の量(後項)にした時の、料理酒とみりんを砂糖の比を書いてください。

料理酒 : 醤油 = ____ : ____ → 比の値 ____

みりん : 醤油 = ____ : ____ → 比の値 ____

砂糖 : 醤油 = ____ : ____ → 比の値 ____

比が前項と後項の2つの項で収まらない比を連比と呼びます。

連比は解答1のように分割して考えるのが、基本です!

簡単な場合は、解答2のように図を書いて計算しても良いね!

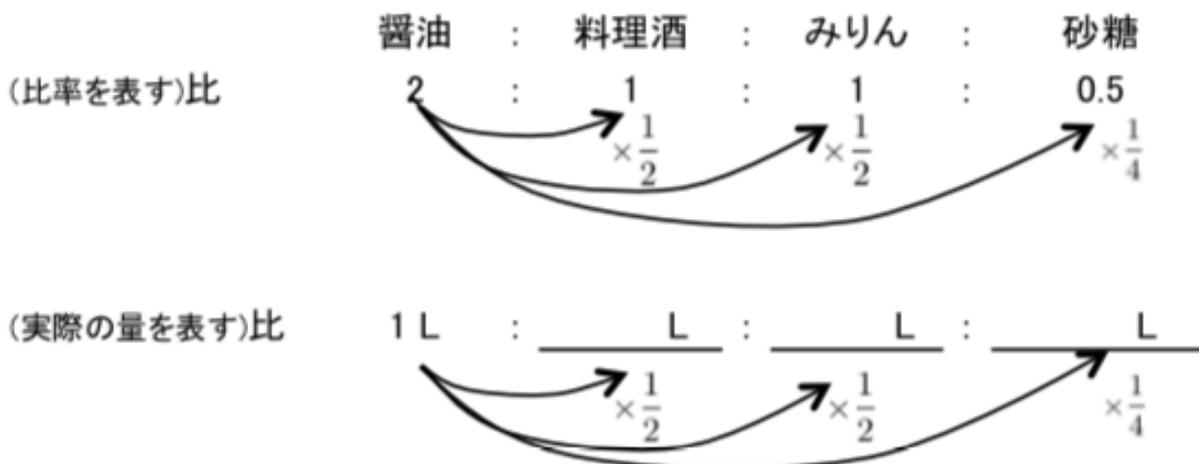
普段の生活では、こういった連比を使って表す計量方法が工場やお料理に使われます。

これらの比の値は各量の醤油に対する割合だから、醤油1Lにそれぞれの比の値を掛ければ、それぞれの調味料の量が計算できます。

答え しょうゆ : 料理酒 : みりん : 砂糖 = 1L : ____L : ____L : ____L (👉実際の量を表す比)

ちなみに、問題文にある「しょうゆ : 料理酒 : みりん : 砂糖 = 2 : 1 : 1 : 0.5」は比率を表す比です。

(解答 2)



例題 7 ある喫茶店では、ミックスジュース一杯を400mL入るコップに、300mL作って、氷を入れてお客さんに出します。美味しいミックスジュースを作るためには、注文があったら材料を混ぜてシェイクしジュースを作らなくてはなりません。りんごジュースとみかんジュースと牛乳と砂糖を1:1:1:0.15で混ぜたものに、レモン汁少々を加えれば美味しいミックスジュースの出来上がりです。誰でも作れるように、ミックスジュース一杯を作る500mLのシェイカーに作り方のラベルを貼ろうと思います。下のラベルの下線部に適当な数値を書き、ラベルの文章を完成させてください。(巻末解答参考)

「一杯のミックスジュースを作るには、りんごジュースとみかんジュースと牛乳を_____mL : _____mL : _____mLで配合したものをシェイカーに入れ、大さじ一杯(15mL)の砂糖とレモン汁を数的足して、30秒シェイクしてコップに注いで氷を入れてください。」

[5] 比の利用 (2) : 比例配分

「100個のおはじきを、花子さんと妹が6:4で分ける事にしました。花子さんは60個、妹は40個のおはじきをもらって嬉しそうです。」

このように、比で表した比率である量を分ける事を、比例配分と言います。

この例を、もう少し詳しく、考えてみようね。

花子さんと妹が6:4で分けたということは、全体は、

$$6+4=10$$

と考えられるよね。そうすると、花子さんは全体10の中の6をもらうことになります。一方、妹は全体10の中の4をもらうことになります。全体のおはじきの数は100だから、

$$\text{花子さんのおはじきの数} = 100 \times \frac{6}{6+4} = 60,$$

$$\text{妹のおはじきの数} = 100 \times \frac{4}{6+4} = 40,$$

となるよね。

前項と後項が分ける量を表す比は、前項と後項を足した数が全体の数になるから、

$$\text{前項} \div (\text{前項} + \text{後項}) = \frac{\text{前項}}{\text{前項} + \text{後項}} \quad \text{が全体に対する前項の (比率、割合、歩合、百分率)} \textcircled{G}$$

$$\text{後項} \div (\text{前項} + \text{後項}) = \frac{\text{後項}}{\text{前項} + \text{後項}} \quad \text{が全体に対する後項の (比率、割合、歩合、百分率)} \textcircled{H}$$

となりなります。

比例配分では、ここがポイントで、比の値=前項÷後項が重要ではなく、 $\frac{\text{前項}}{\text{前項} + \text{後項}}$ と $\frac{\text{後項}}{\text{前項} + \text{後項}}$ が重要な値なのです。

ここでもう一度、割合、歩合、百分率の復習をしよう。

割合に10をかけたものが、(比率、割合、歩合、百分率)^①になるんだよね。

これは、元にする量(全体)を10と見立てた時の、比べる量の比率を表し、単位は、割、分、厘。

そして、割合に100をかけたものが、(比率、割合、歩合、百分率)^①になるんだよね。

これは、元にする量(全体)を100と見立てた時の、比べる量の比率を表し、単位は、%。

練習問題 8 A小学校の6年生の児童数は78名です。男女の内訳は、男子が42名、女子が36名です。

(1)男子の女子に対する比率を、比を使って表してください。比は最も簡単にしてください。

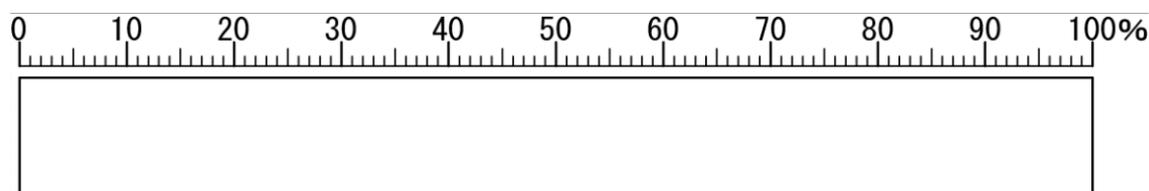
(2)6年生全体に対する男子の比率を比を使って表してください。

(3)(2)を利用して6年生全体に対する男子の割合を四捨五入により小数第2位まで計算してください。

(4)(3)を利用して6年生全体に対する男子の歩合を計算してください。

(5)(3)を利用して6年生全体に対する男子の百分率を計算してください。

(6)(5)を利用して6年生の男女の人数の百分率に対する帯グラフを描いてください。



練習問題 9

2m50cmのリボンを3:2に分けました。分けたリボンはそれぞれ何センチになりますか？

練習問題 10

安子さんの誕生日に、丸いケーキを買ってきました。安子さんの家は、お父さん、お母さん、安子さん、弟の4人家族です。お母さんの分を少なめにするために、ケーキを

お父さん：お母さん：安子さん：弟=4：3：4：4に分けました。切ったケーキの中心角は、それぞれ何度になりますか？

[6]比の利用 (3) : 様々な利用方法

練習問題 1 1 1kgの海水から20gの塩が採取できます。

(1)採取できる塩の海水に対する比率を比を使って表してください。答えは最も簡単な比に直してください。

(2)海水に含まれる塩の割合を求めてください。

(3)3kgの塩を取るには、何 kilograms の海水が必要ですか？

練習問題 1 2 時速80kmで走る車があります。

(1) 45分では、何キロ進みますか？

(2) (1)を比を使って解いてみよう。

練習問題 1 3 50cm×50cmの壁を塗るのに、ペンキが250mL必要です。高さ 2 mで幅 5 mの壁を塗るには、このペンキは何リットル必要でしょうか？

解答

練習問題 1 90 : 60

練習問題 2 (1) $60 \div 150 = 0.4$, 答え 0.4

(2) 0.4 : 1

練習問題 3 (1) 練習問題 2 (1) の割合に10をかければ、歩合が求まる。

 $0.4 \times 10 = 4$, 答え 4割

(2) 4 : 10

練習問題 4 (1) 練習問題 2 (1) の割合に100をかければ、百分率が求まる。

 $0.4 \times 100 = 40$, 答え 40%

(2) 40 : 100

例題 2 ①～⑤は全て、 $1/3$ になる。

比率を表す比だとしたら、5個は同じになるのかな？→なります。

実際の量を表す比だとしたら、5個の比は等しくなるのかな？→なりません。

比を構成している数は違うけれど、5個とも同じ比の値になるのは、どういうことだろう？

と考えてもらうことが必要です。

「①から⑤は同じ比率を表しているので、同じ比だと言えます。」という模範解答が欲しいです。

練習問題 5

① 3 ② $1/6$ ③ 1 ④ $6/7$ ⑤ $3/8$ ⑥ $4/7$ ⑦ 3 ⑧ $1/14$ ⑨ $7/9$ ⑩ 6⑪ $2/3$ ⑫ $1/4$ ⑬ $1/2$ ⑭ $3/4$ ⑮ $1/7$ ⑯ $1/4$ ⑰ $1/2$ ⑱ $3/4$ ⑲ 3 ⑳ $9/5$ ㉑ $7/12$ ㉒ 6

練習問題 6

① 3:1 ② 1:6 ③ 1:1 ④ 6:7 ⑤ 3:8

⑥ 4:7 ⑦ 3:1 ⑧ 1:14 ⑨ 7:9 ⑩ 6:1

⑪ 2:3 ⑫ 1:4 ⑬ 1:2 ⑭ 3:4 ⑮ 1:7

⑯ 1:4 ⑰ 1:2 ⑱ 3:4 ⑲ 3:1 ⑳ 9:5

㉑ $7:12$ ㉒ 6:1

練習問題 7

① $x=2$ ② $x=3$ ③ $x=72$ ④ $x=1$ ⑤ $x=1$ ⑥ $x=30$ ⑦ $x=98$ ⑧ $x=44$ ⑨ $x=132$ ⑩ $x=32$

例題 6

(解答 1)

醤油を元の量 (後項) にした時の、料理酒とみりんと砂糖の比を書いてください。

料理酒：醤油 = 1： 2 → 比の値 1/2

みりん：醤油 = 1： 2 → 比の値 1/2

砂糖：醤油 = 0.5： 2 → 比の値 1/4

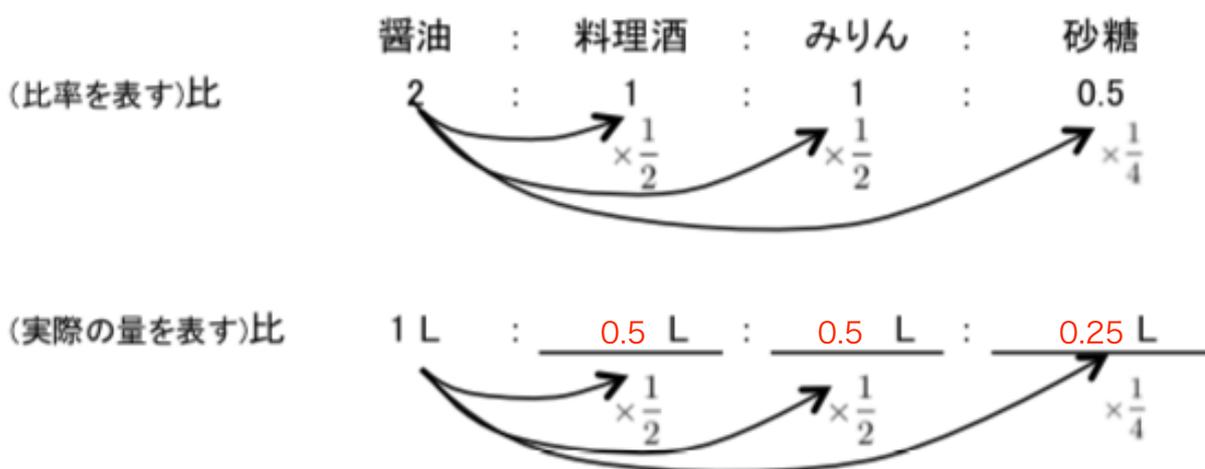
これらの比の値は各量の醤油に対する割合だから、醤油1Lにそれぞれの比の値を掛ければ、それぞれの調味料の量が計算できます。

答え しょうゆ：料理酒：みりん：砂糖 = 1 L： 0.5 (=1/2) L： 0.5 (=1/2) L： 0.25 (=1/4) L

(👉実際の量を表す比)、**実際の量は、小数で表しましょう!**

ちなみに、問題文にある「しょうゆ：料理酒：みりん：砂糖 = 2：1：1：0.5」は比率を表す比です。料理で使うかさの量は、mLかccだよ!

(解答 2)



例題 7

練習問題 8

(1) 42:36=7:6 答え 7:6

(2) 全体は6+7=13となり、そのうち男子が7なので、男子と全体の人数の比は7：13

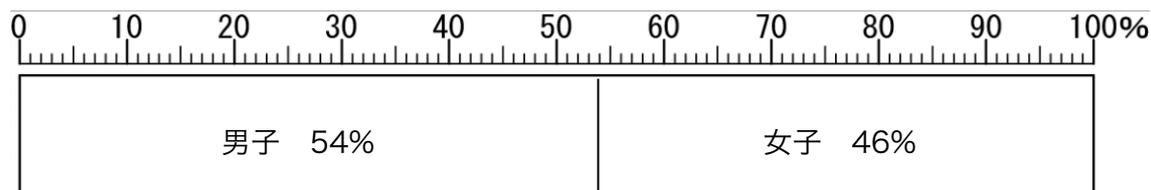
答え 7:13

(3) 7÷13=0.54, 答え 0.54

(4) (3) の答えに 10 を掛けて5.4となるので、歩合は5割4分。 答え 5割4分

(5) (3) の答えに 100 を掛けて54となるので、百分率は54%。 答え 54%

(6)



練習問題 9

$$2\text{m}50\text{cm}=250\text{cm}$$

比例配分の式を作ると、

$$250 \times \frac{3}{3+2} = 150$$

$$250 \times \frac{2}{3+2} = 100$$

答え 150cm と 100cm に分ける。

練習問題 10

$$\text{全体}=4+3+4+4=15$$

比例配分の式から、

$$\text{お父さんの全体に対する割合} = \frac{4}{15}$$

$$\text{お母さんの全体に対する割合} = \frac{3}{15}$$

$$\text{お父さんと安子さんと弟のケーキの中心角} = 360^\circ \times \frac{4}{15} = 96^\circ \quad \leftarrow \text{答え}$$

$$\text{お母さんのケーキの中心角} = 360^\circ \times \frac{3}{15} = 72^\circ \quad \leftarrow \text{答え}$$

練習問題 11

(1) $20\text{g}:1000\text{g} \rightarrow 1:50$ 答え 1:50

(2) (1) の比の値が海水に含まれる塩の割合だから、 $1 \div 50 = 0.02$ 答え 0.02

(3) $3\text{ kg} : x\text{ kg} = 1:50$

比の値が等しいので、

$$\frac{3}{x} = \frac{1}{50}$$

$$x = 150$$

答え 150kg

練習問題 1 2

$$(1) \quad 80 \times \frac{45}{60} = 60$$

答え 60km

$$(2) \quad 45 : 60 = x : 80$$

$$\rightarrow 3 : 4 = x : 80$$

比の値が等しいので、

$$\frac{3}{4} = \frac{x}{80}$$

$$x = 60$$

答え 60km

練習問題 1 3

50cm×50cmの正方形の面積=0.5m×0.5m=0.25m²

0.25m²の面積を塗るのに、ペンキが0.25L(250mL)必要だという事を0.25 : 0.25と比で表します。高さ2m、幅5mの壁の面積は10m²ですから、この壁を塗るのに必要なペンキの量を x とすれば、10 : x は0.25 : 0.25と同じになると考えられます。だから、比例式

$$10 : x = 0.25 : 0.25$$

となるのです。そして、x=10となります。

答え 10 L

- Ⓐ 比べる量
- Ⓑ 元にする量
- Ⓒ 割合
- Ⓓ 十分率
- Ⓔ 一分率
- Ⓕ 1 : 3
- Ⓖ 割合
- Ⓗ 割合
- Ⓘ 歩合
- Ⓣ 百分率